



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市亀田総合体育館
 試合区分：少年女子 準々決勝
 開催期日：2009年10月3日(土)
 開始時間：10:00

GAME No. 1003G1

主審：中江 洋美
 副審：伊藤 隆浩

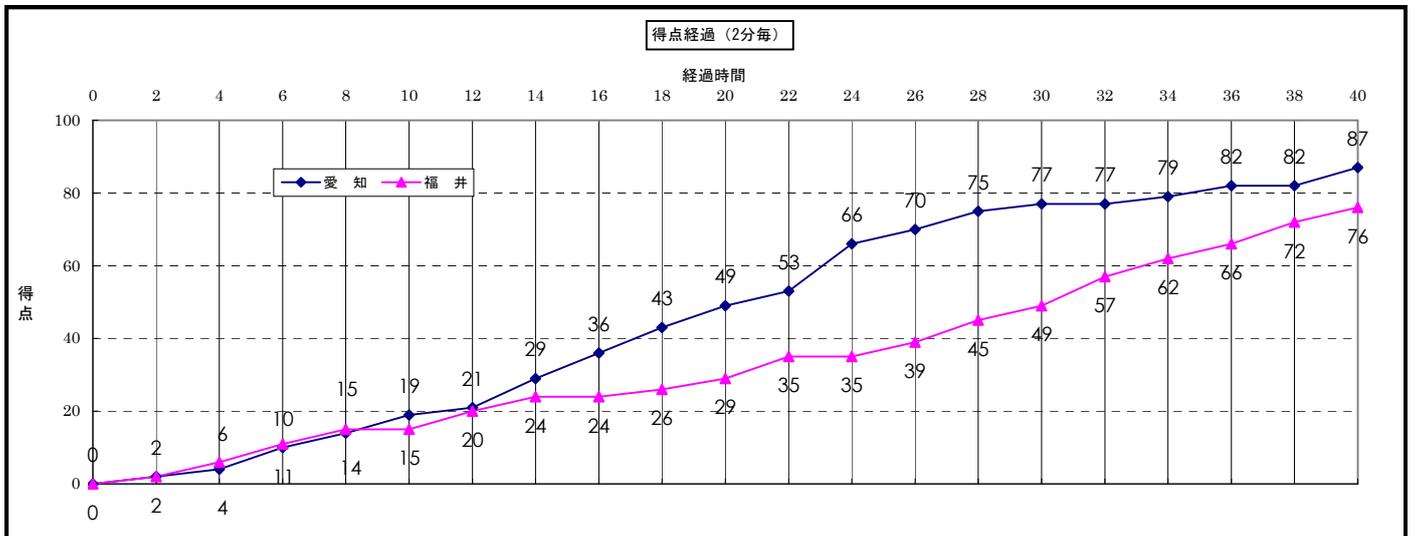
Team A	○	19 -1st- 15 30 -2nd- 14 28 -3rd- 20 10 -4th- 27	●	Team B
愛知	87		76	福井

TEAM A		愛知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	本多 真実	7	1	2	0	0
5	*	水島 沙紀	13	2	3	1	3
6	*	大西ムーア・ダイアンまどか	27	1	11	2	0
7		村瀬 瞳子	0	0	0	0	1
8		菅原 絵梨奈	0	0	0	0	0
9		木原 芳	0	0	0	0	1
10		外山 優子	5	1	1	0	2
11	*	岡本 彩也花	9	1	3	0	2
12		石黒 加奈	2	0	1	0	1
13		ヒル 理奈	2	0	0	2	2
14		白 慶花	0	0	0	0	1
15	*	渡嘉敷 来夢	22	0	10	2	0
Coach		井上 真一					0
TOTAL			87	6	31	7	13

TEAM B		福井					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		小泉 有加	8	2	1	0	2
5	*	福島 かおり	12	0	6	0	3
6		木暮 彩華	12	2	2	2	0
7		棟朝 瑠衣	-	-	-	-	-
8	*	濱地 花霞	10	0	4	2	3
9	*	糸魚川 朋子	8	0	4	0	3
10		幸道 妙恵	-	-	-	-	-
11	*	木工 理恵	12	1	4	1	3
12		伊藤 純	-	-	-	-	-
13		松原 由愛	-	-	-	-	-
14		堀内 郁美	-	-	-	-	-
15	*	李 妍	14	0	4	6	3
Coach		林 慎一郎					0
TOTAL			76	5	25	11	17

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	-	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	14:15	-	22:57	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q, 両チームマンツーマンで始まる。愛知 #5水島のスティールからの速攻で先制。福井は #8濱地のドライブイン。愛知 #15渡嘉敷のアシストで #6大西が得点。福井は、#11木工の3Pシュートやドライブインで得点するものの、愛知 #15渡嘉敷のバスケットカウント、#6大西のシュートなどで、19-15の愛知リードで終わる。

2Q, 福井は #4小泉のドライブイン、#6小暮の3Pシュートで追いかけるが、愛知 #15渡嘉敷のバスケットカウント、#4本多の3Pシュートで引き離し、32-24で福井タイムアウト。その後も、愛知は #15渡嘉敷、#6大西で得点を重ねる。福井 #9糸魚川の連続得点で追いかけるが、愛知は着実に得点を重ね、49-29で前半を終わる。

3Q, 福井 #15李の連続得点で始まる。愛知も #15渡嘉敷を中心に得点を重ね、#11岡田のスティールからの得点で福井がタイムアウト。タイムアウト後も愛知が着実に得点を重ねる。残り3分、福井 #15李が3つめのファールでベンチに下がると、福井はディフェンスを1:2:1:1のオールコートプレスに変えて愛知の攻撃をしのぎ、77-49で3Qを終える。

4Q, 愛知がメンバーをすべて入れ替えて始まる。福井はオールコートマンツーマンでボールに対してプレッシャーをかけ、#9糸魚川や #4小泉の3Pシュートで追い上げる。残り5分から、福井が1:2:1:1のオールコートのゾーンプレスでダブルチームを仕掛けボールを奪いに行く。福井はディフェンスが成功し、スティールからの連続得点で点差を縮め、残り2分で82-72の10点差とする。追い下がる福井に対して、愛知は最後には冷静さを取り戻し、87-76で愛知が準決勝へと駒を進めた。

記載責任者	佐藤 淳 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-----------	---------------